

災害事例及び措置情報

番号	管内	県名	発生年月日	鉱種	鉱山労働者数 A:9人以下 B:10~49人 C:50~99人 D:100人以上	災害事由	罹災者数(人)				原因となった装置・施設等	ハザード(危険の内容)	災害概況	リスクマネジメント実施状況 (発生前)	原因	対策	詳細情報	
							死亡	重傷		軽傷								計
								4週間 以上	4週間 未満									
1	近畿	京都府	平成17年 1月24日 11:55頃	けい石	C	外・墜落	1			1	作業場階段	安全な作業通路	り災者は、製品包装場に向かう通路途中の階段を(3段)を降りようとした時、右足を踏み外し0.7m下のフロー(床)に墜落し、左足首を骨折し、り災した。	・安全に通行出来る箇所を確保する。	・足元の確認を怠った。	・作業階段等を色彩明示する。 ・安全通路の保安教育を実施する。 ・類似災害防止のため、リスク評価の見直しを行う。	概要図17-1	
2	近畿	京都府	平成17年 4月5日 16:00頃	けい石	C	外・取扱中の 器材鉱物等 のため			1	1	作業箇所	安全な作業箇所	り災者は、製品包装場でフレコン詰め作業中に、空のフレコン継手金具(シャックル)の突起箇所を踏んだ時、左足首を骨折し、り災した。	・安全に作業箇所を確保する。	・足元の確認を怠った。 ・作業床面の整理整頓が不十分であった。	・作業箇所を整理整頓し、作業の安全を図る。 ・作業箇所に係る保安教育を実施する。 ・類似災害防止のため、リスク評価見直しを行う。	概要図17-2	
3	近畿	京都府	平成17年 8月11日 16:00頃	けい石	C	外・墜落	1			1	クレーン・吊り荷	吊り荷の移動	り災者は、外注業者のとび職として、浮選工場の分級機を入替作業のため、2階扉付近でクレーンにより吊り上げられた荷のバランスを取る作業をしていた時、誤って6m下の道路面に墜落し、右肘骨折等り災した。	・非鉱山労働者非常作業について事前に作業員間で連携を密にする。	・不安定な箇所で作業をしていた。 ・命綱を着用していなかった。	・事前に作業箇所の状況を周知し、安全に作業する。 ・命綱を着用する。 ・類似災害防止のため、リスク評価見直しを行う。	概要図17-3	
4	近畿	京都府	平成17年 9月19日 19:00頃	けい石	C	外・墜落	1			1	作業箇所	安全な作業箇所	り災者は、高さ1.9mの高所において、チェーンの修理作業をしていた時、近接する制御室から異常警報ブザーが鳴ったので、慌てて制御室に行こうとして、階段上部で足を踏み外し、墜落し、左足踵を骨折し、り災した。	・非非常の高所作業の作業手順が定められていなかった。	・非非常の高所作業の作業手順が定められていなかった。 ・高所作業箇所では不安定な足場であった。	・非非常の高所作業の作業手順が定める。 ・高所作業箇所では足場を設置する。 ・類似災害防止のため、リスク評価の見直しを行う。	概要図17-4	